

TOPIC



エコーラインに お答えします

避難場所や備蓄品に 関する質問

Q ①災害時の避難場所を確保することや、②備蓄品の廃棄などがない管理方法—を考えて欲しいです。

【中島在住者】

A ①災害時に必要な支援を迅速に行うため、関係機関や団体などと災害応援協定を締結しています。締結状況はホームページ（下記QRコード）で確認でき、協定締結先の募集も行っています。



避難場所の確保は、重要な課題と考えており、町外への広域避難の検討に加え、新たな避難場所の確保に向けて積極的に取り組めます。

②備蓄品の管理は現在、期限が来る前に各校区の防災訓練で参加者に配布しています。この方法に加えて、ローリングス

トック（日常で消費しながら備蓄をする方法）や、その他の管理方法を研究し、フードロスやコストの削減に努めます。

問合せ／総務課

中央公民館の建て替えに 関する質問

Q 中央公民館の建て替えに際して、いろいろな文化を披露する場にして欲しいと思います。

【佐山在住者】

A 久御山町では、「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』構想（くみやまCCCAC構想）を策定し、誰もが居場所と役割をもち活躍できる活気あふれる久御山モデルの「地域共生社会」の実現をめざし、その拠点施設として「全世代・全員活躍まちづくりセンター」を新たに整備することとしています。

機能としては、社会教育・生涯学習拠点機能に、①子育て支援、②子供からシニア世代、高齢者の活動支援、③生涯学習環境の充実、④多世代交流・多文

化交流、⑤社会福祉領域との連携・協同、⑥防災拠点、⑦文化財の保護・活用—の七つの付加機能を持たせることを基本に検討を進めていきます。

建築予定地は、住民の皆さんの思いが強く、愛着があり、用地の取得コストも考慮し、現在の中央公民館の場所を候補に役場敷地内で建築することを前提に考えています。

まちづくりセンターをどのような施設にするかについて、新たに設置した整備検討委員会や住民の皆さんなどの意見を聞きながら、今年度基本計画をまとめ、令和5年度中の完成をめざします。

問合せ／行財政課

図書館の蔵書に関する質問

Q 図書館でマンガの単行本を借りることができるようにして欲しいです。できないのであれば、その理由を聞かせてください。

【林在住者】

A 図書館の蔵書は、さまざまな購入希望に対し、限られた予算・スペースがある中で、バランスのとれた蔵書構成となるよう心がけています。

マンガは児童を中心とした学習に寄与するため、学習マンガを主に購入しています。

年間7万点以上の図書が出版される現在、図書館で購入できるものは2千冊程度と限られています。

京都府内の図書館と相互に貸借できる制度がありますが、学習マンガ以外のマンガは他の図書館でも蔵書にしているところが少なく、借り入れが困難です。また、1タイトルが多巻で構成しているものが多く、蔵書スペースが制約されるということもあります。

限られた予算・スペースを最大限に生かし、できる限り多くの人の希望に添えるよう、利用状況を考慮しながら、バランスのとれた蔵書構成に努め、充実を図りたいと思います。

問合せ／図書館